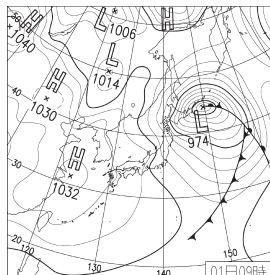


# 日々の天気図

— No. 170

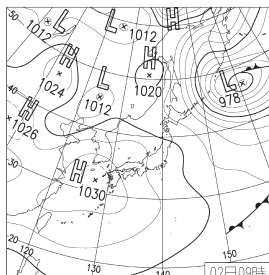
## 2016年3月

- ・1日、低気圧通過で北海道暴風雪。
  - ・8日、羽田空港、濃霧で欠航多数。
  - ・28日、静岡県や関東で雷雨となり、降ひょうを観測した所も。
  - ・月降水量は松江・新潟など山陰・北陸を中心に9か所で3月1位の少雨。月平均気温は岐阜・福島など6か所で3月1位の高温に。
- (気象庁予報部予報課)



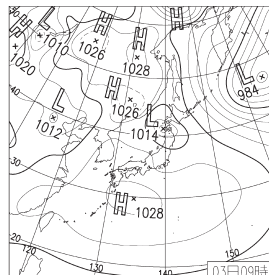
### 1日(火)強い冬型の気圧配置

北海道日本海側は数年に一度の猛ぶさ。札幌では最大瞬間風速33.8 m/sで3月の極値更新。最高気温は全国的に真冬並。福島県只見で日降雪量40 cm、石垣市でヒカンザクラ満開。那覇市、熊谷市でウグイス初鳴。



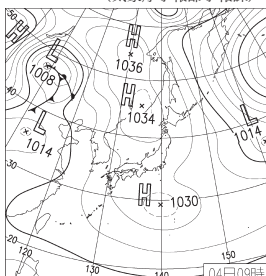
### 2日(水)強風次第におさまる

冬型の気圧配置緩んだが北陸以北の日本海側は雪続く。最低気温は全国的に真冬並多い。福島県只見で日降雪量40 cm、石垣市でヒカンザクラ満開。那覇市、熊谷市でウグイス初鳴。



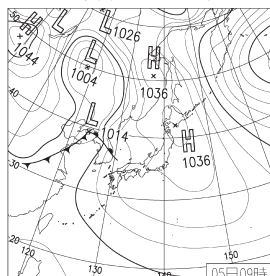
### 3日(木)北日本の上空に寒気

北陸以北中心に低気圧の影響で風強く、雪や雨。ほかは概ね晴れ。栃木県奥日光で最大瞬間風速26.7 m/s、宮城県古川で25 m/s。宮崎県で震度4。松山市などでウグイス初鳴。



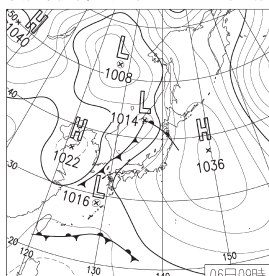
### 4日(金)春と冬

高気圧に覆われ東～北日本は概ね晴れ。沖縄～西日本は所々雨。東北南部以南は最高気温4月並に。福島市でウグイス初鳴。一方、北海道内陸は最低気温が平年差-10°C以下に。



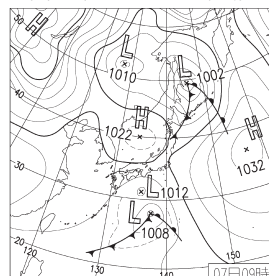
### 5日(土)九州は5月並の気温も

北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。沖縄～東日本は南から暖かく湿った空気が入った影響で沖縄・奄美や山陰を中心に曇りや雨。下関市でタンポポ開花。



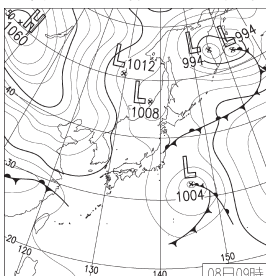
### 6日(日)全国的に気温上昇

低気圧や前線の影響で各地曇りや雨。全般に南風吹き気温上昇。長崎県有川29.5 mm/1 hの雨、福岡県大牟田24.5°C、長崎県島原24.9°Cの高い最高気温のいずれも3月1位。



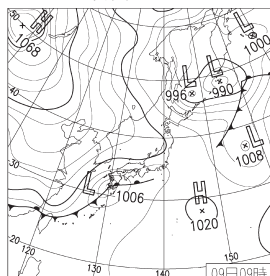
### 7日(月)気温高く真冬日ゼロ

近畿～東北の太平洋側を中心に雨。最低気温・最高気温ともに4～5月並と高く、25地点で夏日となった。最低気温は18地点、最高気温は9地点で3月の最高を記録。



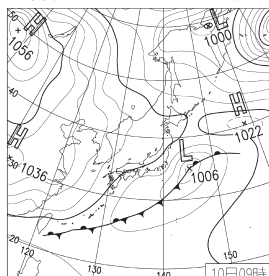
### 8日(火)気温高い

サハリン付近で低気圧が発達し、北海道で暴風雪。広尾で最大瞬間風速25.4 m/s。全国的に気温高く4～5月並。太平洋側の広い範囲で濃霧となり交通に影響。長野市でウメ開花。



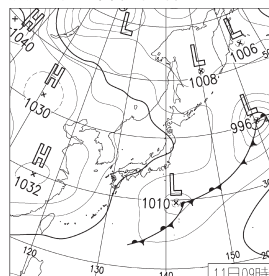
### 9日(水)気温急降下

南岸低気圧の影響で、沖縄～東日本を中心に雨。北海道は高気圧に覆われて概ね晴れ。西日本～東北では、最高気温が前日より10°C以上低下した所も。



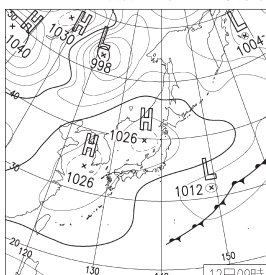
### 10日(木)引き続き気温低め

高気圧が北に偏って張り出し北日本は晴れたが、沖縄～東日本は曇りや雨。最高気温上がらず、特に東日本や九州南部では前日より6°C以上低下した所もあり、関東中心に真冬並。



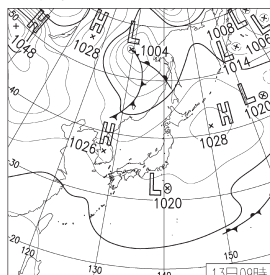
### 11日(金)雲多く気温上がらず

大陸から高気圧が張り出したが全国的に雲が多く日照少ない。日本海側と沖縄や関東で雨。最高気温は関東や沖縄～西日本で真冬並、関東では平年より7°C以上低い所も。



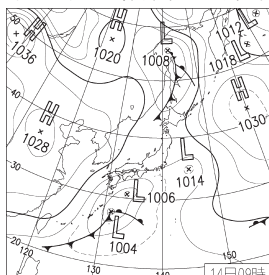
### 12日(土)寒い一日

高気圧に覆われて広く晴れたが、日本海側は所々で雪や雨、関東は東風の影響で曇り。全国的に最低気温・最高気温ともに平年より低く、関東の最高気温は真冬並。



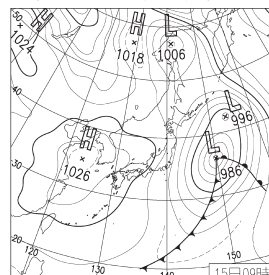
### 13日(日)東西に連なる雲域

高気圧が日本の東に進み、東西に連なる雲域に覆われる。沖縄～東海で雨。沖縄は暖かく湿った空気が流れ込み気温上昇。九州や関東は最高気温上がらず、真冬並の所も。



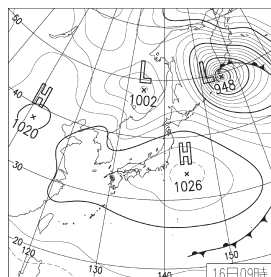
### 14日(月)南岸低気圧

低気圧が発達しながら日本の南を北へ東進し、沖縄～東北部を中心に雨。本州などの内陸では雪も。沖縄・奄美は、沖縄県城辺と鏡原で63 mm/1 hなど、所々で非常に激しい雨。



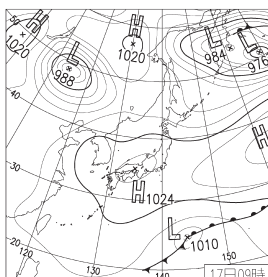
### 15日(火)高気圧張り出す

発達した低気圧は日本の東へ進み、冬型の気圧配置は西から緩んで高気圧に覆われた。沖縄・奄美と北陸以北の日本海側を除き晴れ。最高気温は沖縄と長野県を除きほぼ平年並に。



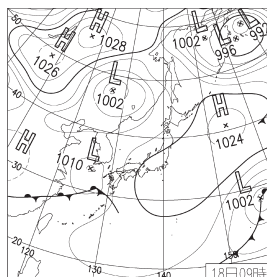
### 16日(水)高気圧に覆われる

日本付近は高気圧に覆われて概ね晴れたが、南西諸島は曇りや雨、西日本～東日本太平洋側も曇りや雨。北日本や日本海側は最高気温が4月並に。新潟市、長野市でウグイス初鳴。



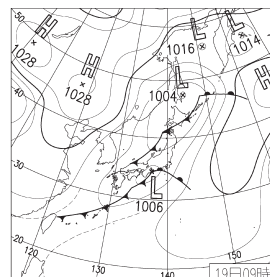
### 17日(木)気温上昇

雨の沖縄を除き高気圧に覆われて晴れ、全国的に気温上昇。約1/4の227地点で20℃以上、最高気温が6月並の所も。北海道苫小牧で3月の最高気温記録を更新する15.5℃。



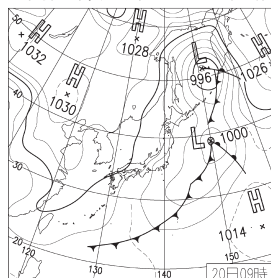
### 18日(金)全国的に天気下り坂

東シナ海の低気圧と前線が東進し、九州から次第に雨。鹿児島県では激しい雨が降り、吉く別府で日降水量が170.5mmとなり、3月1位の記録を更新。



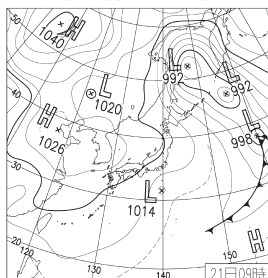
### 19日(土)暖かな雨と桜の便り

低気圧や前線の雨雲が日本列島を東進。和歌山県潮岬72.5mm/1hの雨は3月1位。全国各地で最低・最高気温が4～5月並。福岡市、名古屋市でサクラ(ソメイヨシノ)開花一番乗り。



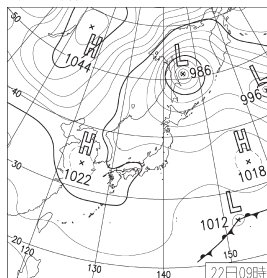
### 20日(日)最高気温平年並に戻る

低気圧が日本の東へ進み、冬型の気圧配置に。寒気が入り、北陸～北日本日本海側では雪や雨。東海や関東の一部は湿った気流入り、曇りや雨。岐阜市でサクラ開花。



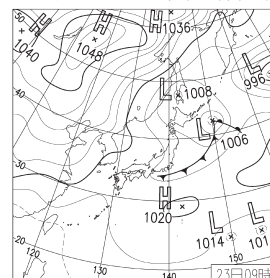
### 21日(月)東京サクラ開花

大陸から高気圧が西日本や北日本に張り出し、西日本と北日本では概ね晴れ。関東は低気圧の影響が残り、南部中心に曇りや雨。東京では平年より5日早くサクラ開花。



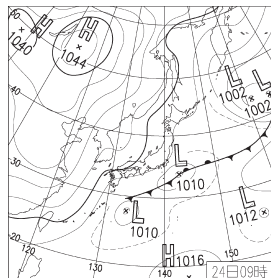
### 22日(火)西日本各地サクラ開花

西～東日本は高気圧に覆われて晴れ、最高気温は4月並。北日本は気圧の谷の影響で日本海側を中心に雨や雪。熊本市、長崎市、和歌山市でサクラ開花。茨城県で震度4。



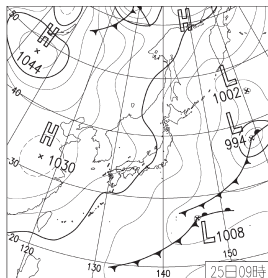
### 23日(水)西・東日本でサクラ開花

湿った気流で南西諸島中心に雨。鹿児島県笠利は38.5mm/1hで3月の1位。北陸以北は雪や雨。関東以西で最高気温は4月並。松山市、大阪市、横浜市など12都市でサクラ開花。



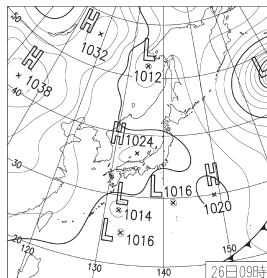
### 24日(木)花冷え

北日本に強い寒気入り、冬型の気圧配置に移行。全国的に雨や雪の所多いが西～東日本は太平洋側中心に晴れ。沖縄と関東など最高気温が真冬並に。宮崎市、高知市でサクラ開花。



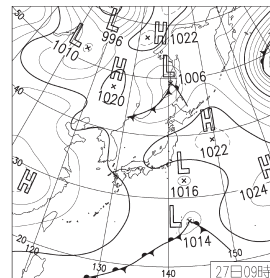
### 25日(金)花冷え続く

冬型の気圧配置が続き、山陰以北の日本海側を中心に雪や雨。沖縄・奄美は気圧の谷の影響で曇りや雨。西～東日本の太平洋側は概ね晴れたが雨や雪の所も。全国的に気温低め。



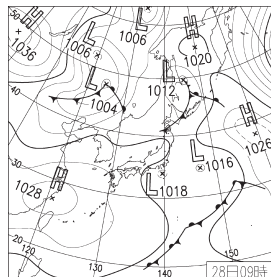
### 26日(土)西日本に新たな寒気

移動性高気圧に覆われて全国的に概ね晴れたが、西日本の上空には新たな寒気が入り、九州で夜には雨。最低気温が平年より6℃低い所も。高松市、岡山市、神戸市でサクラ開花。



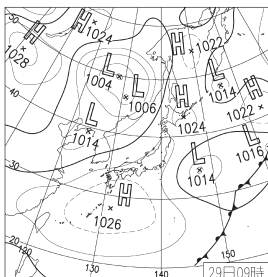
### 27日(日)西日本は雨で寒い一日

寒気が入った西日本は大気の状態が不安定となり、雨で気温上がらず。最高気温は南西諸島で真冬並。東・北日本は概ね晴れて4月並。鹿児島市、静岡市、福井市でサクラ開花。



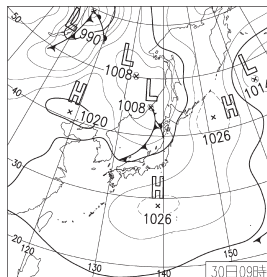
### 28日(月)東海・関東で雷雨

強い上空寒気の流れで大気の状態が不安定となり静岡や東京などで雷。横浜、宇都宮で降ひょう。最高気温は沖縄～西日本で平年より低く北日本は高い。大分市などでサクラ開花。



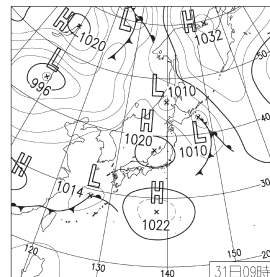
### 29日(火)お花見日和

日本の南と北日本を東進する高気圧に覆われ、全国的に概ね晴れた。東～北日本の内陸では、所々で最高気温が平年より6℃以上も上回った。富山市でサクラ開花。



### 30日(水)福岡などでサクラ満開

日本海の低気圧に伴う寒冷前線が通過し山陰～北日本で雨。九州も気圧の谷の影響で曇りや雨。北日本では最高気温が5月並に。長崎市、松江市でサクラ満開、福島市などで開花。



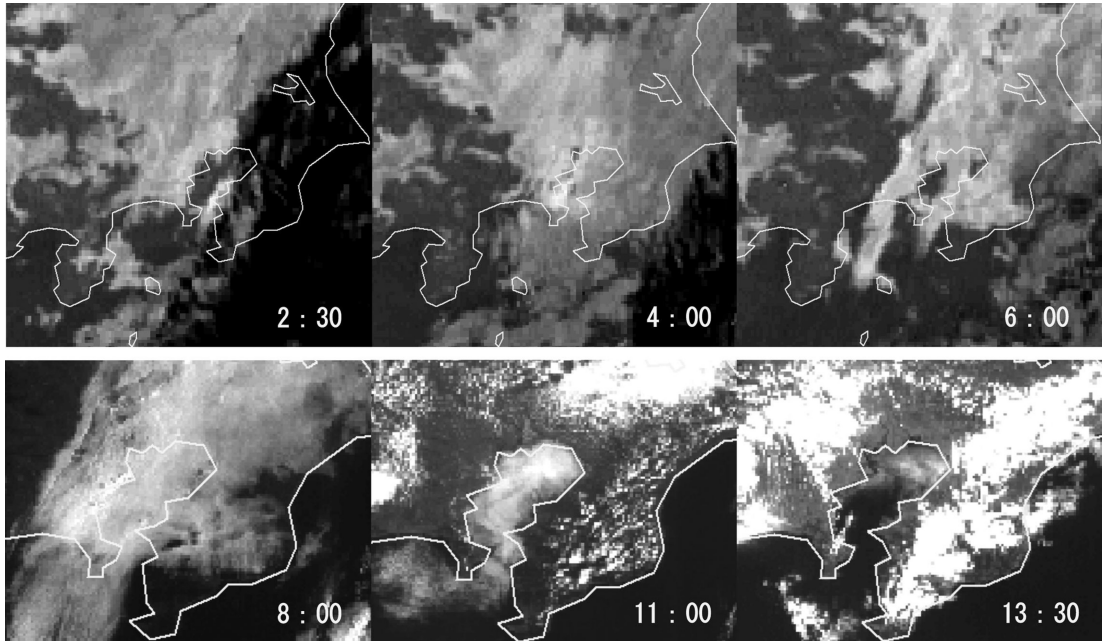
### 31日(木)各地でサクラ満開

沖縄～西日本は低気圧が接近、次第に雨に。東～北日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。最高気温は九州を除き平年より高め。福井市、名古屋市、東京など7都市でサクラ満開。



## 今月のひまわり画像—2016年3月

### 昼過ぎまで持続した東京湾の霧



第1図 2016年3月8日の関東付近における赤外差分画像（上段：左から2時30分、4時、6時）及び東京湾付近における可視画像（下段：左から8時、11時、13時30分）。

2016年3月8日、関東地方を中心に所々で霧が発生した。東京湾では昼過ぎまで霧が持続し、約6年前の2010年2月25日以来の稀な現象となった。

第1図は、3月8日2時30分～6時（日本時間）の関東付近における赤外差分（赤外1（波長 $10.4\mu\text{m}$ ）と赤外4（同 $3.9\mu\text{m}$ ）の輝度温度の差）画像及び8時～13時30分の東京湾付近における可視画像である。前者では白灰色、後者では白くベール状に見える領域が霧を含む下層雲域である。同日未明に関東の広範囲で発生した霧は、陸上では昼前までに日照による気温の上昇と共にほぼ解消した。しかし、東京湾ではこの霧がなかなか解消されず、11時には東京湾の全域と相模湾の一部で、13時30分には東京湾の湾奥で霧が残った（同図）。

前日の7日には、関東地方で海上から暖かく湿った空気（露点温度 $13\sim 14^{\circ}\text{C}$ ）が流れ込み、まとまった降水があった。陸上では、夜間から早朝にかけて地表付

近に湿った空気が滞留し、上空が晴れて放射霧となった。ところが、東京湾では海面水温が露点温度より低い $12\sim 13^{\circ}\text{C}$ であったため、湿った空気の流れ込みにより、8日早朝以降に移流霧が発生したと考えられる。

東京湾周辺のアメダスや地上気象観測によると、8日午前中に弱い北風から東よりの風に変化しており、関東の東海上の湿った空気が房総沖から東京湾に流入した可能性を示唆している。

東京湾の霧の解消は、やや強い暖かな南風が入り始めた14時頃となった。同図の13時30分の可視画像でも東京湾内の南側から霧が解消しはじめている様子が確認できる。

なお、東京湾で持続した霧により、東京国際空港では発着する50便以上が欠航し、目的地を変更する便が相次ぐなどの影響が出た。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）